

【2月11日～14日】

期間中公開！

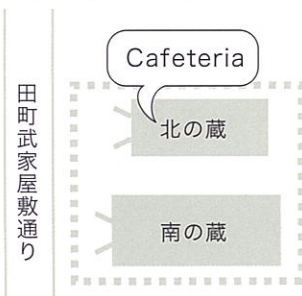
太田家(中の太田)の2棟の大蔵

OPEN 午前9時～午後3時



期間中常設展示

※木造の大きな小屋の中に、
2棟の大蔵が納められています。



- ◆光る！角館の蔵地図展示
- ◆蔵の特徴展示
- ◆蔵の建築年表展示
- ◆古地図の展示
- ◆昔の角館の写真展示
- ◆大スクリーンへの蔵写真スライドショー

特別企画

2月11日・土曜

【オープニングイベント】午前10時～ 太田家の蔵
餅つき、おしるこを楽しむ「蔵開き」

【シンポジウム】午後1時～ 角館町榊細工伝承館

第1部 岩瀬北野線延伸で町が変わる！

パネリスト 門脇光浩氏 (仙北市長)
渡辺敏男氏 (盛岡まちなみ塾事務局長)
加賀谷宏一氏 (感恩講代表)
今野則夫氏 (住民代表)
小出和郎氏 (角館まちづくり研究所顧問)

第2部 歴史遺産をどう守るか 蔵が消える…

パネリスト 門脇光浩氏 (仙北市長)
渡辺敏男氏 (盛岡まちなみ塾事務局長)
久住章氏 (カリスマ左官職人)
安藤大輔氏 (角館町観光協会会長)
小出和郎氏 (角館まちづくり研究所顧問)

蔵が 消えてゆく…

KURADEN THIRD
蔵伝3rd

2012年 2月11日～14日

「角館まちづくり研究所」では、「蔵伝」プロジェクトの一環として、今年度は角館の蔵の実態調査を中心に活動しています。活動に参加したい仲間を募集しています。お問合せ：菊地(090-1496-0694)

《代表》菊地道彦《副代表》石橋正則・佐藤慎

青山慎一・荒木博・石郷岡直宏・河原田次朗・小松英治・堺研太郎・佐藤勲・嶋崎辰雄・相馬博之・田口真道
・仲野谷勝洋・新山仁・藤原里香・山田美知男

角館まちづくり研究所

蔵伝3

古いものと暮らせる
町でありますように

30年間でその数は半減

昭和56年（1981）の角館町税務課調査の記録によると、当時あった蔵は231棟。2年前、平成22年（2010）の角館まちづくり研究所の調査では101棟。この30年の間に、その数は半分以下に。100棟以上の蔵が消えてしまいました。

ここ数年は解体される蔵や古民家が急激に増えました。その事情には、所有者の高齢化で維持管理が困難になった、経済事情、修理する技術者の不足などの問題があるようです。

昔ながらの町並みは私たちの誇り。この町並みに惹かれて訪れる旅人も多く、先人が残してくれた財産です。市の財政も厳しい中ですが、手を動かし知恵をしばって守り続けたいものです。

【特別企画】蔵は修復できる！ 左官技術のコツ
カリスマ左官・久住章の
技術ライブ～3days
太田家の蔵

2012年2月12日（日）～14日（火）
午前9時～午後3時

受講料：無料 ご希望の時間に直接会場へお越しください

【講師】

久住章

くすみあきら。兵庫県淡路島生まれ。父も左官。18歳で長兄について左官の修行を始める。業界誌「左官教室」の編集者小林澄夫氏の紹介で、建築家の仕事を手がけるようになる。アーヘン工科大学の夏期講師に招聘されたのを機に、世界各国の土壁を見てまわり、独自の技をつくりあげる。兵庫県技能顕功賞、吉岡賞（現新建築賞）、日本建築学会文化賞受賞。

植田俊彦

うえだとしひこ。左官。22歳で久住章氏と出会う。金物会社と共同開発した独自の鏝を使った左官で知られる。



蔵が 消えてゆく...

●角館城主・芦名家の武器蔵 角館町で最も古い蔵 遺跡が危機的状況に

角館の歴史遺産のひとつ「芦名家の武器蔵」。平成元年に角館町文化財に、合併後は仙北市文化財に指定されました。

しかしこの蔵は現在、個人が所有しています。劣化する蔵の扱いに所有者も困惑し、文化財としての対応策を仙北市に求めているところです。約400年のあいだ角館を見守って来た貴重な存在を、生かし続けたいものです。

